



平成28年度 学校だより

緑 柏

長崎県立佐世保南高等学校

No. 137 平成28年8月31日発行

発行責任者 松井 裕次

校長室の窓から

R I O 五輪に学ぶ

校長 松井 裕次

オリンピックは史上最多のメダルラッシュに沸いた。4年に1度の感動の瞬間を見逃すまいと、2週間の睡眠不足。ハイレベルな試合と脚本のないドラマに引き込まれた。スポーツは訳もなく、人を引きつける。

感動を勇気に、ライバルを力に

水泳の萩野選手と瀬戸選手の大舞台でのライバル対決が大きく注目された。「大也がいたからここまで来れた」と萩野選手は言っている。ワンツーフィニッシュこそならなかったが、ライバルの存在が互いを成長させる大きな原動力になったことは間違いない。また、陸上では4人のサムライ（山縣・飯塚・桐生・ケンブリッジ）による「魂のバトンリレー」が世界を驚かせた。100mのファイナリストが1人もいないチームが銀メダルを取ることを、誰が予想できたろうか。勝因に数ヶ月前から練習してきたアンダーハンドパスがあげられていたが、4人が互いを認め、しのぎを削っているライバル関係があったからこそだろう。

人生においてもライバルは大切だ。勉強でも部活でも、自分自身を成長させるライバルを見つけてほしい。

あきらめない

錦織選手は元世界王者ナダルに対し、大きく失いかけた流れを、粘り強く世界一のストロークで引き寄せた。高橋・松友ペアも心が折れかけた…。そこから世界一の連携を見せ「土壇場の大逆転」で金メダルを手にした。水谷選手は団体決勝で過去全敗の相手にマッチポイントを許しながらも、「驚異的な粘り」で勝利した。体操ニッポンの内村選手が見せた「魂の着地」。レスリング4連覇の伊調選手が見せた終了間際の大逆転、「最後は（他界された）お母さんが助けてくれた」に感動させられた。エイズの研究で有名な佐世保出身の満屋裕明氏が講演で、「人生における失敗とは、もう少しで成功するところで、それを知らずに投げ出してしまうことだ」と言っている。メダリストに勇気とパワーを貰い、学習に部活動に、最後まであきらめずにやりきってほしい。

堂々と銅メダル

「金メダルを取って当たり前…」、柔道もレスリングもこのプレッシャーをよく乗り越えた。銀メダリスト・銅メダリストのコメントが、「申し訳ありませんでした」から入ってくる。レスリングの最強女王 吉田選手も涙した。誰もが、「勝ちを信じていたが、そこまで言わなくても…」、「精一杯頑張ったのだから、もっと堂々と振る舞ってよい」と思っている。自己に厳し過ぎる世界だ。一方で、重量挙げ三宅選手の笑顔が素敵だった。人は悔しさを知って強くなる。寄り添ってくれる人の温かさにも気づくことだろう。根拠はないが、漢字のつくりを見ると、敗者の思いを知っている「銀」は金より良い、「銅」は金と同じと読み取れる。

ゴールイメージをもとう！

レスリング銀メダルの太田選手が「世界一の練習をして、東京では金を獲得したい」と、もう次を見据えていた。進路実現・全国大会…。南高生のゴールも人それぞれだろう。昨夏の県高校総体100mの覇者 北川雄翔君が、新聞にこう紹介された。「北川君の武器は、考えて実行する力。理想の走りをイメージし、練習で足りない部分を埋めていく。自己分析を繰り返し、修正する能力である」。見習いたい、全てに当てはまる。

1学年・3学年 学習合宿

1学年

1学年では、7月28日（木）から8月1日（月）の5日間、長崎市のホテル「矢太樓」において学習合宿を実施しました。

1日10時間を超す学習という今まで経験したことない生活に、最初は戸惑いや集中力にかけられる場面も見られました。しかし、日を追うごとに集中力が増し、目の前の課題に熱心に取り組む姿や、質問教室を経験することで理解できる達成感に満ちた表情を見ることができるようになりました。

生活面においても5分前行動は徹底され、学年の目標である「思いやりの気持ち」を持った行動も多く見られました。また、育友会の皆様から頂いた差し入れも感謝していただくことができました。

周囲への配慮や、自己に負けない強い気持ちに磨きをかけ、今後の成長につながる合宿になったと思います。



3学年

3年生による学習合宿が、長崎市のホテル矢太樓を会場に、7月27日（水）～8月2日（火）にわたり6泊7日の日程で実施されました。初日から落ち着いた雰囲気の中で自学が始まり、難問や疲労および睡魔と戦いながらの1週間を過ごしました。今回は積極的な質問が目立ち、目標の1つである苦手教科・科目の克服に向けたきっかけを掴んだ生徒が多かったのではないのでしょうか。この経験を今後の受験勉強に活かしてほしいと願っています。

○生徒の感想から

質問に行く前に「本当にわからないのか？」と考えて参考書や教科書と向き合ううちに、自分で理解できることに気付くことができました。自分で解決しようとした分、時間を使ってしまいましたが自分で苦労した問題はなかなか忘れないと思うので、わからなかったらすぐに人に頼るのではなく、まず自分で努力しようと思いました。ただ、先生に質問する絶好のチャンスだったので事前に質問する内容を決めておけばよかったと思いました。



○第61回長崎県吹奏楽コンクールを終えて

去る7月26日（火）27日（水）にアルカスSASEBOで開催されました。今年は20名の1年生を加え47名で出場しました。1年生がここ数年では多く入部してくれたので、部内は活気溢れ毎日楽しく練習できました。私のくじ運が悪いのは有名な話で今年も2日目の1番です。集中することだけを念頭に置き頑張りました。そして本番。思ったより落ち着いて本校らしい良い演奏になったと思います。特に今年は全体のレベルも高く、審査もかなり厳しいものでした。結果『銀賞』でした。部員達の大粒の涙は来年につながるダイヤの涙だと思います。3年の部員に感謝！保護者の皆様に感謝！OB・OGの皆さんに感謝！応援して頂いた先生方に感謝！コンクール後に入部してきた生徒もいます。今、来年に向け明るく元気に再スタートしました。（平瀬）

○南高オープンスクール ～中学生を対象に開催～

8月23日(火)にオープンスクールを開催しました。今年は500名近くの中学生・保護者が参加されました。全体会では、2年4組の高井佑豪さんと羽田里奈さんが司会を務め、スムーズに会を進行してくれました。吹奏楽部とバトン部による合同セレモニーは会場を盛り上げ、澁刺とした南高生のイメージを中学生に伝えてくれました。全体会後は、公開授業と座談会を行いました。座談会では、ボランティア生徒が司会進行を務め、部活動や南高生活について中学生や保護者に説明をし、中学生の皆さんは熱心に説明を聞いていました。



○全国高総文祭に邦楽部が出場

8月1・2日、広島県福山市で開催されました第40回全国総合文化祭に、邦楽部の2・3年生12名が出場しました。今年の選曲「音、きらゝ」は、各パートの個性的なリズムが重なり合っ美しい旋律をつくる曲で、まさにこの佐南邦楽部の個性的なメンバーが心ひとつに音楽を作り上げる様子にびったり。メンバーたちの曲への思い入れも強く、自分たちらしい「音、きらゝ」を目指して、全員で意見を出し合い、時間をかけて仕上げてきました。

本番当日は、他団体の演奏に大いに刺激を受けつつ、その中で佐南邦楽部らしい息の合ったすばらしい演奏を披露することができました。今回4度目の全国の舞台ということで、今年こそは8位入賞を！との思いもありましたが、惜しくも叶わず。入賞の夢は来年に託し、また新生邦楽部、一丸となつてがんばっていきます。皆さま方からの暖かいご声援、本当にありがとうございました。



○「長崎原爆遺構を訪ねて」 8月9日 平和学習を実施

戦後71年を迎えた今年、8月9日の平和学習は、「長崎原爆遺構を訪ねて」をテーマに有志の生徒6名(中西将仁、吉永篤史、財津瑠太、森康平、原田幸典)による発表を行いました。その内容は、旧城山国民学校校舎・浦上天主堂旧鐘楼・旧長崎医科大学門柱・山王神社の片足鳥居とクスノキ・旧山里国民学校の被爆遺構の取材を行い、それらをまとめた映像を交えながら、被爆遺構の取材報告及び事前に全校生徒におこなったアンケートの結果を報告しました。また、現地では被爆者の内田伯さん、新聞記者の岡田将平さんからお話を伺うことができました。内田さんは15歳の時に爆心地から1.3kmの兵器工場で被爆、ご家族5人を亡くされています。「人間を焼き殺すような核兵器はあってはならない」「目から消え去るものは心からも消え去る」という危惧を抱きながら被爆遺構の保存運動をされています。岡田記者からは被爆者を取材されたときの苦労話や「被爆体験など悲しく辛い体験を残しておかないとそれがなかったことになってしまう」という言葉を聞くことができました。発表では、内田伯さんの原爆体験記を放送部の太田藍楓さんに朗読してもらいました。



旧城山国民学校校舎



山王神社片足鳥居



体育館での発表風景

南高に NEW FACE \ (^o^) /

Diana Gabriela Reyes (ダイアナ ガブリエラ レイズ)

- ・1993年10月27日生まれ メキシコ出身 ・Venture College で学士を取得 自然科学を専攻
- ・その後カリフォルニア州にある University of California-Santa Cruz に進み古典文学を専攻
- ・好きなキャラクターはトトロ、ハローキティ
- ・本人より一言

Hello everyone! I'm so excited to be here in Minami High School! Coming to Japan has been my dream ever since I was a teenager and I am so happy to finally be here. My first impression of Sasebo was that it was too hot! It's definitely going to take me a while before I get used to it. Despite the weather, I have enjoyed every second of it because Sasebo it's a beautiful city and its people are kind, friendly, and amazing. I hope to meet all of you and I am looking forward to work in this school!

みなさん、こんにちは！佐世保南高に赴任し、大変わくわくしています！

日本に来ることは10代からの夢でしたので、ついに日本に来ることができとても嬉しいです。

佐世保の第一印象は、とにかく暑い！暑さに慣れるまで、絶対しばらくかかるでしょうね。暑いけれど、佐世保は美しい街ですし、佐世保の人達は親切で、友好的で、素敵なので、ほんのひと時をも楽しんでいます。

皆さん一人ひとりにお会いしたいですし、この学校で働くことを楽しみにしています！

〇ふれあい看護体験

佐世保市内で実施されたふれあい看護体験に、本校から将来看護師になることを希望している2年生が20名参加してきました。現場の状況を知ることで、より職業意識が高まったようです。

感想

私は先日ふれあい看護体験で初めて看護師の制服を着て、実際に看護体験することができました。「看護師の仕事は大変だ。」と言葉でしか聞いたことがありませんでしたが、今回体験することで本当の大変さを知ることができました。患者さんの体を拭いたり、食事の介助をしたりなど大変な仕事ばかりでしたが、この1日で貴重な体験ができ、様々なことを学ぶ良い機会になりました。

〇南高祭のお知らせ

第68回体育祭

期日：平成28年9月4日（日）

※雨天時は9月5日（月）

場所：本校グラウンド

第68回文化祭

期日：平成28年9月11日（日）

場所：本校



部活動の結果

〇バスケットボール部

第29回阿蘇火の山旗練成大会

女子 3位

第48回県北地区高等学校長崎新聞社杯

女子 優勝

〇バレーボール部

第20回島原市バレーボール協会長杯

男子 3位

〇水泳部

長崎県高等学校新人体育大会水泳競技

水町 匠 100M バタフライ 3位

200M バタフライ 3位

南里愛恵 200M 自由形 3位

400M 自由形 3位

永井知美 200M 個人メドレー 3位

〇社会を明るくする運動弁論大会

山田聖華 優秀賞

野口泰陽 ライオンズクラブ賞

九州大会出場!!